

---

**2020年3月期通期連結決算発表の日程  
新型コロナウイルスに対する日立の取り組み  
および2021中期経営計画について**

### 1. 2020年3月期通期連結決算発表の日程

- 新型コロナウイルス感染拡大による在外子会社などの決算手続遅延により、5月中旬以降を予定。
- 2021年3月期通期業績見通しは、新型コロナウイルスによる影響を見極め次第公表。

### 2. 十分な流動性、財務健全性の確保

- 日立が保有する連結の現金および現金同等物：約6,945億円\*1
- 2020年3月に総額2,000億円の無担保普通社債を発行、成長に向けた投資の財源を確保。
- 金融機関とのコミットメントライン契約額は未使用のまま5,000億円\*2を維持。

### 3. 新型コロナウイルス感染拡大に対する取り組み

- 日立は、世界各国・地域において、安全・健康を第一に、全従業員が一丸となり、お客さまに対する支援の継続や、社会インフラを支える製品・サービスの提供に努めています。
- 日本政府による緊急事態宣言に従い、リモートワークツール活用により、原則在宅勤務とし、従業員の安全・健康と社内外の感染拡大防止を最優先にした施策を行っています。主要拠点において、約8割の従業員が出社を控えています。
- 中国においては、連結子会社の大半が営業を再開。ロックダウンが発生している海外の地域においては、リモートワークにより、お客さまに対する支援を継続。生産拠点は、迅速に操業を再開できるように準備しており、社会インフラ機能を支える体制を維持しています。

\*1 2020年3月期第3四半期末時点

\*2 2020年3月末時点

### 4. 2021中期経営計画について

- 2019年度の進捗：
  - Lumadaを活用したデジタルソリューションの提供基盤の強化。
  - 北米ロボットSI事業への参入や上場子会社の見直しなどの事業ポートフォリオの強化。
  - ROIC導入による資本コストをより意識した経営や間接業務見直しなどの構造改革の推進。
- 2020年度取り組み：
  - 日立ハイテクの完全子会社化、ABB社パワーグリッド事業の買収、本田技研工業株式会社の関連会社である自動車部品メーカー3社の統合など、事業ポートフォリオ強化を継続。
  - 『どのような経済環境にも対応できる企業体力の強化』
    - ・ Lumadaを中心とする成長戦略の展開(米国事業拠点の連携強化、事業ポートフォリオ強化など)
    - ・ 構造改革の推進(コスト構造の最適化、間接業務の見直しなど)
    - ・ 資本政策の強化(資本コストへの対応など)
  - さらに、『新型コロナウイルス後の新たな経営環境』を意識し、お客さま・パートナーと共に成長できる企業への変革を進める意思を込め、2021中期経営計画を進化させる予定。
- 真のグローバルリーダーに変革し、事業ポートフォリオの変革や経営基盤強化を通じ、お客さまの社会価値・環境価値・経済価値の3つの価値向上への貢献をめざします。

**HITACHI**  
**Inspire the Next**